



-持続型育成クラブ-

SAIJODAN Family Group

企画概要書

作成日：2022/12/23

作成者：初代 エグゼクティブファミリープロデューサー
川本峻

Agenda

1. Input (クラブの現状課題)
2. Concept (企画概要)
3. Output (具体的な運用方法)



-持続型育成クラブ-

1. Input (クラブの現状課題)

0 - 14

あなたはこの数字を見て、何をイメージしますか？

実は、これ

2021 第100回 全国高等学校サッカー選手権大会 広島県大会

1次トーナメント
1回戦

 2021/08/29 (日)

日時	21/08/29	場所	沼田高校 G.	
vs 沼田高校		13:30~		
広島城北	0	前半	3	沼 田
	0	後半	11	
	0	計	14	

なぜ、こんな結果になってしまったのか？

当時の問題について、改めて整理してみました。

① 部員数の急激な減少

一学年：15人 → 4人に

3年生4人にプレッシャーや責任が重くのしかかった

② コロナ禍で、OBとの交流機会が大幅に減少

OBの恋蹴に取り組む姿勢を間近で見ることができず、
最上段スピリットを知らない世代になってしまった

※ちなみに、一昔前のクラブはこんな感じでした。

① 一学年：15～25人

Aチームに出場できない選手達のために、ライノス（Bチーム）
が存在していた。恋蹴から元気があった。

② 合宿や普段の恋蹴にOBが参加、現役を指導

毎年お盆に行われる「最上段魂注入合宿」には、全国から多くの
OBが泊まり込みで参加する。夜は現役の悩みや相談に乗り、メ
ンタル面もサポート。話し合いは数時間に及ぶこともザラにある。

では、それら2つの解決策は？

① 部員数の急激な減少

= **解決しにくい問題**

部員数を増やすには、入学者自体を増やさなければならない。

入学者数を増やすために、クラブができることには限界がある。

② コロナ禍で、OBとの交流機会が大幅に減少

= **解決できる課題**

デジタル化した社会のため、これまでとは違う形で交流機会を創り出すことが出来る。



コロナの課題を突破すれば、クラブは大きく変わるはず！

そもそも、 コロナ禍で苦しんでいるのは、現役だけなのか？

実際、わたしの身近に困っている人たちがいました。



それは、卒業した**大学生OB**です。

彼らは、オンライン授業の継続やサークル活動の停止など、
他の世代よりも長く活動が制限されていました。
そのため、就職活動の際、企業にアピールできる経験がない、
と困っていました。

そこで、

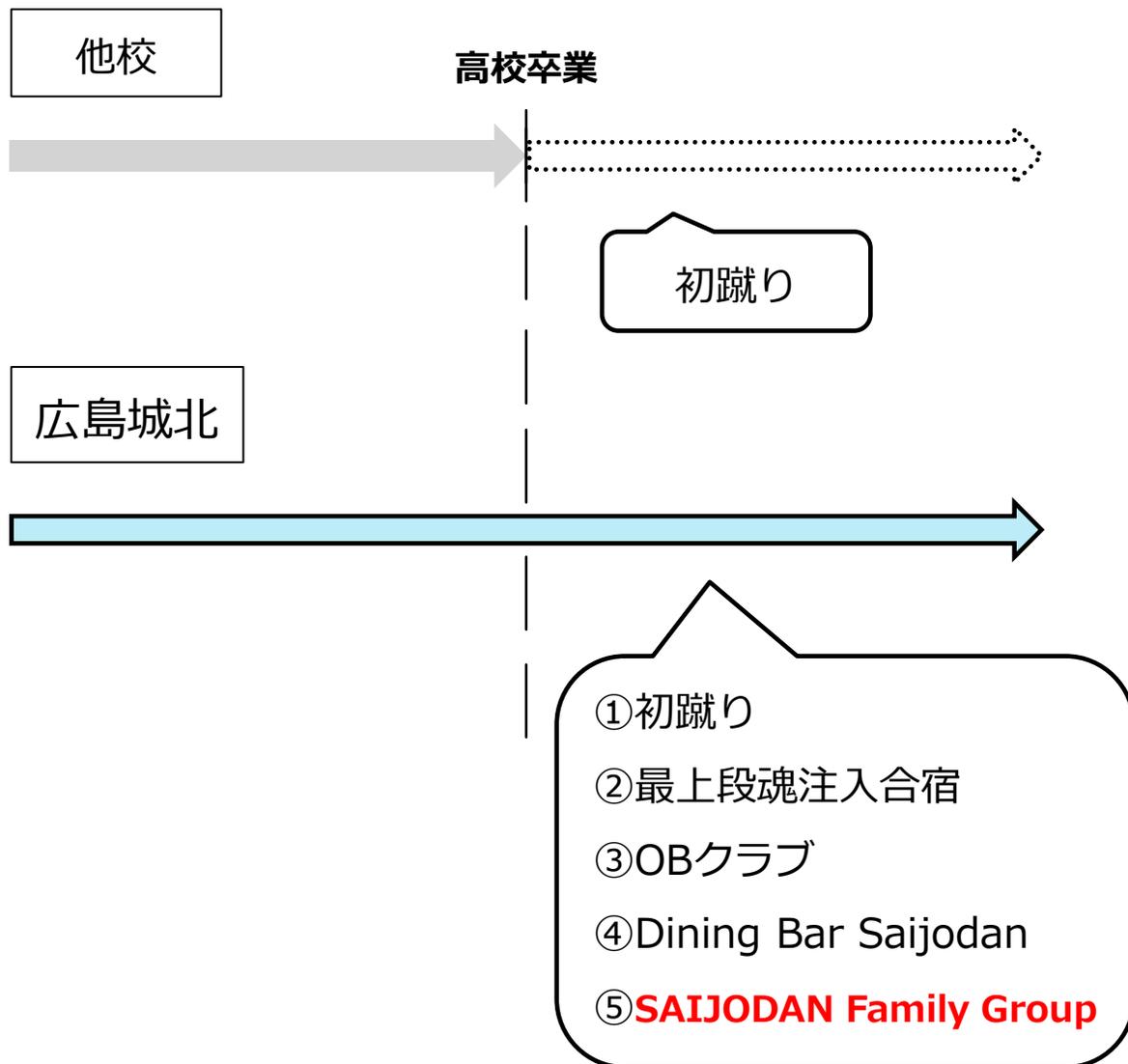
**OBに育ててもらったクラブだからこそ、
今度は逆に、クラブがOBを支えなければならない**

と考えました。

根底にあるのは、 クラブの大切にしている理念 『持続型育成クラブ』

我々は単なる育成型クラブではありません。

我々は高校3年間に限らず、卒業した後も
OBが「**継続的に**」成長できる環境を整備しています。



クラブの大切にしている理念 「持続型育成クラブ」

①初蹴り



OBだけでなく、その保護者も帰ってこられ、
総勢100名規模で開催している。

②最上段魂注入合宿



毎年お盆の時期に、3泊4日で開催。
全国各地からOBが帰ってこられる。

③OBクラブ



卒業後のサッカー環境を整備。

④Dining Bar Saijodan



吉川OB会長がオーナーのお店。
帰ってきたOBが集う場所を整備。

改めてまとめてみると

現役

コロナによって、OBから得るはずだった成長機会を失い困っている

大学生OB

コロナによって、課外活動での成長機会を失ったことで、多様な経験の場を求めている



そこで、

コロナの影響で成長機会を失った両者を

そのまま**掛け算**してみました。



-持続型育成クラブ-

2. Concept (企画概要)

この企画を一言で言うと

**365日・いつでも・どこでも成長できる
第3の最上段**

私たちはこれまで、
昼の最上段（グラウンド）・夜の最上段（Dining Bar Saijodan）
で多くの学びを得て成長してきました。

しかし、2020年。
コロナによって、2つの最上段を訪れることが出来なくなり、
現役・OBは大変困りました。

そしてその時初めて、
最上段という「場所」でしか成長できないことに気が付きました。

そのため、
時間・場所を問わず成長できる環境を整備する必要がある
と考え企画しました。

企画詳細

SAIJODAN Family Group (SFG)

多様な経験を求める
大学生OB



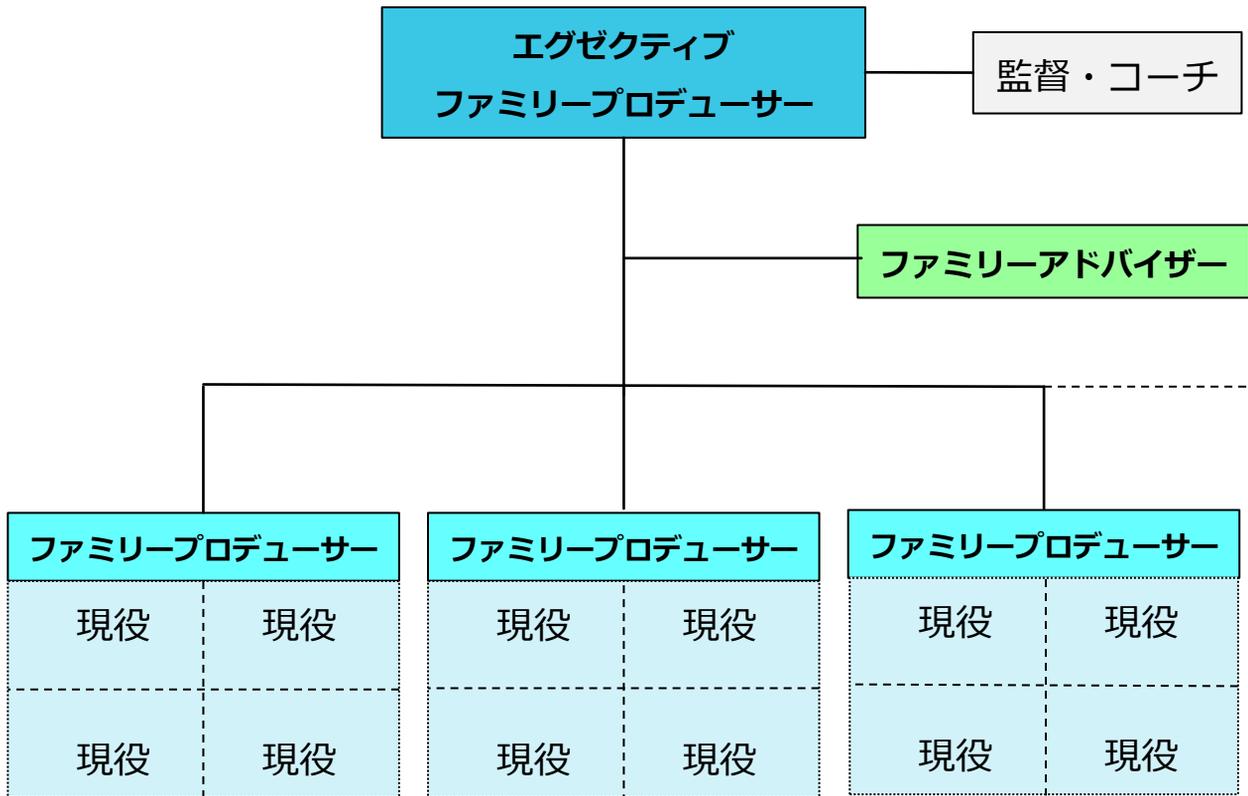
成長機会を求める
現役



- ・就職活動の「自己PR」や「ガクチカ」で使える経験
- ・コーチングを通して、対人スキルやマネジメントスキルなどを体得できる
- ・自身の経験をクラブに還元できる

- ・最上段スピリットを学び体現できるようになる
- ・悩み事や相談を年齢の近いOBに気軽に行える
- ・サッカーのことだけでなく、進路や勉強についても相談できる

組織図



●エグゼクティブファミリープロデューサー (=EFP)

SFGの総責任者。大学生OBと現役、双方の成長にコミットする。
よりよい活動になるよう、イベントの企画・実施も行う。

●ファミリープロデューサー (=FP)

各ファミリーの総責任者。現役の成長を第一目的に行動する。
現役との信頼関係構築から助言・指導に至るまで、自主的に考動する。

●ファミリーアドバイザー (=FA)

ファミリープロデューサーに助言する中堅OB。
FPだけで解決できない問題に対し、第三者の立場からアドバイスする。

名称に込めた想い

●SAIJODAN Family Group (略 : SFG)

名称に「SAIJODAN」を入れたのは、昼の最上段（グラウンド）、夜の最上段（Dining Bar Saijodan）に次ぐ、365日・いつでも・どこでも成長できる「第3の最上段」を目指したいからです。

●ファミリープロデューサー (略 : FP)

現役をまとめる大学生OB。

現役選手の中には、エース番号10を背負って戦っている選手もいれば、ライノスで試合に出ようと必死に戦っている選手もいます。そのため、私たちが求めているのは、現役時代試合に出場し続けたOBだけではありません。むしろ、公式戦に1試合も出場したことがないOBに手を挙げてほしい。つまり、「リーダー」ではなく、現役の成長を幅広くプロデュースできる「プロデューサー」の役目を果たしてほしいと思っています。

●ファミリーアドバイザー (略 : FA)

ファミリー・プロデューサーへ助言をする中堅OB。

ファミリーのことだけでなく、就職活動のことも相談できる。



-持続型育成クラブ-

3. Output（具体的な運営方法）

運営方法

成長意欲のある大学生OBを公募



大学生OB 1人につき、現役 2~4人のグループを結成



大学生OBと現役、双方が気軽に連絡を取るために、LINEを使用



大学生OBが主体的にLINEグループを動かし、現役の成長に貢献する



場合によってはLINE電話やZOOMなどを使用し、現役の相談に乗る



2か月に1度「ファミリー報告シート」で、自らの活動を振り返る



初代メンバーリスト

広島県在住のOBだけでなく、全国各地から応募が来ました！

役職	卒業回生	名前	居住地
エグゼクティブファミリー プロデューサー	54回生	川本峻	広島県
ファミリープロデューサー	55回生	宮本大地	東京都
	55回生	水野翔太	京都府
	55回生	山村青	山口県
	55回生	上原康太	広島県
	55回生	天野壮	広島県
	56回生	西宗波瑠人	東京都
	56回生	藤本晃成	東京都
	56回生	坂本啓太	兵庫県
56回生	藤井鏡亘	広島県	
ファミリーアドバイザー	49回生	前田賢吾	広島県

報告シートの目的（現役・FP別）

○現役選手

1. ファミリーへの取り組みを自己評価し、次月の改善に活かす
2. FPの取り組みを客観的に評価することで、FPの改善に役立てる

○FP（ファミリープロデューサー）

1. ファミリーへの取り組みを自己評価し、次月の改善に活かす
2. 取り組みを記載し保存しておくことで、就職活動の場面で活かすことが出来る

1					
2		ファミリープロデューサー		メンバー	
3		55回生	天野社	2年生	宮田湧
4				1年生	澤原一聖
5				1年生	能美喜一
6					
7					
8		11月	12月	1月	2月
9	起票者	宮田			
10	ファミリーでの活動	自己紹介これからの自分自身の目標を明確に話し合った			
11	活動する中でできたこと	ファミリー内での話し合い			
12	活動する中でできなかったこと	自己紹介など以外の話し合い			
13	今後できるようになりたいと思ったこと	自分自身を分析して相談や質問をする			
14	活動を通して感じたこと	他のファミリーも含めて、内発的か外発的かによって取り組み姿勢が違うなと感じた			
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					

記入方法①

①アプリをダウンロード

以下URL

- [App Store](#) (iPhone・iPad)

※Androidは最初からインストールされている

②共有されたURLへ接続後、
自分のファミリーのタブへ移動

③記入したいセルを選択後、
「テキストか数式を入力」で記入



	11月	12月	1月
1			
2	ファミリー・プロデューサー		
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9	11月	12月	1月
10	ファミリーでの活動		
11	活動する中でできたこと		
12	活動する中でできなかったこと		
13	今後できるようになりたいと思ったこと		
14	活動を通して感じたこと		



	11月	12月
1		
2	ファミリー・プロデューサー	
3	56回生	西宗夜理人
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10	ファミリーでの活動	
11	活動する中でできたこと	
12	活動する中でできなかったこと	
13	今後できるようになりたいと思ったこと	
14	活動を通して感じたこと	

記入方法②

④文章を記入後、✓マークで記入完了

A	B	C
1		
2	ファミリー・プロデューサー	
3	56回生	西宗波理人
4		
5		
6		
7		
8	11月	12月
9	起票者	りょう
10	ファミリーでの活動	
11	活動する中でできたこと	
12	活動する中でできなかったこと	
13	今後できるようになりたいと思ったこと	
14	活動を通して感じたこと	
15		
16		
17		



※保存の必要はありません。記入と同時に勝手に保存されています。



- 持続型育成クラブ -